

気づくための発想を豊かにし 気づく力を育む講座



平成 25 年 10 月 9 日、長野市ふれあい福祉センターにて、長野県社会福祉協議会の小林博明さんを講師にお迎えして「気づくための発想を豊かにし気づく力を育む講座」を開催。地域福祉ワーカーや地域たすけあい事業コーディネーターなど 24 人が参加しました。

まずはじめに講師の小林さんから、そもそも“気づく”とは何か、また、コーディネーターにとって気づくとは、気づくにはどうすればいいか、気づいた後どうするかなど、お話を伺いました。

それからグループに分かれて、それぞれが持ち寄った気になる新聞記事をもとに、気づいたことを出し合い、意見交換。そこから見えてくるニーズ・課題は何かを整理、それに対応するにはどんな活動が考えられるか皆さんでアイデア出しをしました。

それぞれの視点の“気づき”からも、共通するニーズ・課題や活動のアイデアにつながります。ひとりの気づきも、さまざまな人たちで共有することで、ニーズや課題に対応できるアイデアが生まれる。いろいろなことに“気づく”講座となりました。



講師の小林博明さん



新聞記事を持ち寄って、それぞれの“気づき”を出し合います



それぞれの“気づき”から見えるニーズ・課題に対応するアイデアを出し合います



みんなで意見を出し合うことで、いろいろなアイデアがつながります



気づいたことをニーズ・課題として共有し、活動を生みだしていくためには…